

一般社団法人

日本看護研究学会北海道地方会

地方会ニュース

第 37 号

一般社団法人日本看護研究学会北海道地方会事務局

〒061-0293 石狩郡当別町金沢 1757

北海道医療大学 看護福祉学部内

編集責任 三津橋 梨絵

E-mail : h-chihoukai@ml.hoku-iryo-u.ac.jp

2022 年 6 月 1 日 発行

会員の皆さまへ

北海道地方会会長 三国 久美

北海道内で初めて新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染者が確認された 2020 年 1 月から、早いもので 3 年目に入りました。現段階では感染者数が減少傾向にあり、これから熱中症のリスクが高まる夏場に向かうことから、厚生労働省では屋外でマスクの必要のない場面では、マスクを外すことを推奨しています。マスクの着用が習慣化した生活を送る私たちにとっては、コロナ前の生活に戻れるのかと期待する一方で、油断できない気持ちもぬぐえません。

さて、昨年 8 月には旭川医科大学の服部ユカリ学術集会会長のもと、初めてのオンライン開催による地方会の学術集会が開催されました。移動の時間も交通費もかからず、手軽に参加できるというオンラインならではの強みを感じる機会となりました。この場を借りて学術集会の運営にご尽力いただいた会長と関係者の皆様にお礼申し上げます。今年は、天使大学の小澤芳子先生が学術集会会長となり、「子どもたちの健康といのちをつなぐ看護」をテーマに第 30 回の北海道地方会学術集会が開催されます。現段階ではハイブリッド形式の開催を予定されているとのことです。多くの皆さまのご参加をいただけますよう、ご協力のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

北海道地方会の独自の取り組みとして、地方会会員による本学会誌掲載論文や学術集会への報告の中から、看護実践への貢献度が高い研究に対し研究奨励賞を授与しています。今後も皆さまの積極的な投稿・発表をお待ちしております。また、特別講演会を開催する予定です。会員の皆さまのご要望に沿えるテーマを検討して実施したいと考えています。これらの活動は、適宜ホームページでお伝えしていきますので、ご覧いただければ幸いです。

本地方会の目的は、北海道地区において、看護の研究と教育ならびに実践の進歩・発展に寄与することです。日々実践の場で活躍されている看護職者と教育・研究者の連携がますます必要とされてきており、そのような場のひとつでもある本地方会の役割は大きく、また期待されていることを実感します。今後もこのような役割をさらに発揮できるよう、本地方会役員一同さらなる努力をしてみたいと思います。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

最後に会員の皆さまのご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。



令和 4 年度 一般社団法人 日本看護研究学会北海道地方会総会のご案内

今年度は、昨年度と同様に Web での総会を開催させていただきます。

以下の手順により、総会をすすめさせていただきたく、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

<総会の進め方>

- ① パスワードをかけた総会資料をアップロードします。事前に皆さまにメールでご案内いたしますので、地方会のホームページ <https://www.jsnr.or.jp/district/hokkaido/> にアクセスし、確認してください。ご案内の時期は、7月中旬を予定しております。
- ② 総会資料のパスワードは、後日メールでお知らせします。
- ③ ご意見等がある場合、後日メールでお知らせする期日までに地方会事務局のアドレス (h-chihoukai@ml.hoku-iryo-u.ac.jp) 宛にメールでお送り下さいますようお願い申し上げます。この期間にご意見等がなければ、ご賛同いただいたものとして今年度の地方会を運営して参ります。

一般社団法人 日本看護研究学会 第 30 回北海道地方会学術集会のご案内

第 30 回北海道地方会学術集会 開催のご挨拶
テーマ：子どもたちの健康といのちをつなぐ看護

第 30 回 北海道地方会学術集会会長 小澤 芳子

COVID-19 のパンデミックから 3 年目を迎えました。世界では多くの子どもたちが経済的問題や学習機会の喪失、健康問題と多くの影響が報告されています。日本でも子どもたちへの感染状況が伝えられる中、With コロナ・After コロナの時代を見据えて、人々の英知を駆使しながらどう乗り越えていくのかを考える時代となってきました。

昨今の子どもたちの状況をみると「貧困」や「虐待」「自殺」「ヤングケアラー」等々、子どもに関する課題が山積している状況があります。特にコロナ禍において児童虐待の相談件数が 20 万件を超え、摘発件数も増加傾向にあり、不登校児童も文部科学省の調査によると 19 万人以上に増加、そして新たな問題として大人の代わりに家事や家族の世話を担うヤングケアラーの問題等々、子どもを取り巻く環境はより深刻な状況を呈しているのが現状です。これまで子どもの問題は家庭の自己責任という考えが根強く存在する中、単に子どもだけの問題ではなく、親世代の様々な問題と関連し、社会の課題へと発展していきます。2021 年に「こども家庭庁」の創設が示されている中で、専門職として子どもたちの抱える課題と向き合いながら、子どもたちの健康といのちを将来に向けてどうつないでいくのか考えていく必要があると考えました。

そこで、今回の学術集会では、日頃子どもの問題に関わる研究や実践経験のあるシンポジストを迎え、子どもの現状をお話して頂き、看護職として多職種とどのように連携しながら支援していくかを討論したいと思います。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【期 日】令和4年8月6日(土) 13:30~16:30

※開始前13:00~13:10まで令和3年度・研究奨励賞表彰式を行います。

【参加費】会員 1,000円(事前)/1,500円(当日)、非会員 1,500円(事前)/2,000円(当日)、
学生 500円(大学院生は含まない)

【会 場】Zoomによるハイブリット開催

天使大学 2号館3階(北海道札幌市東区北13条東3丁目1-30)

【プログラム】

<シンポジウム>13:40~15:10

テーマ: この街で子どもと家族の健康といのちをつなぐ取り組み

座 長: 日沼 千尋(天使大学 看護栄養科 教授)

沖 隆一(天使病院 医療相談室)

シンポジスト:

「子どもが抱える困難と課題」 小山 和利(藤女子大学 人間生活学部 教授)

「病院内での虐待防止と家族支援」 若本 彩子(手稲溪仁会病院 小児救急看護認定看護師)

「虐待防止に関する仕組みと活動の実際」 田郷 千晶(千歳市保健福祉部 母子保健課 母子支援係)

<一般演題(口演)>15:20~16:30

【参加申し込み方法】下記申し込みフォームより、必要事項を記載し、お申し込みください。

<参加登録フォーム><https://forms.gle/9SgaqHHW8jjbp7sx9>

<必要事項>氏名、メールアドレス、住所、勤務先、参加形式

会員(会員番号)/非会員/学生(大学院生を除く)の別

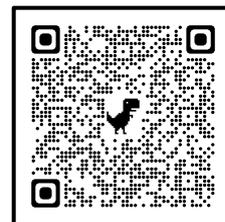
<事前申し込み・事前参加費振り込み期間>

令和4年4月15日~令和4年7月22日(金)

※対面参加の場合は、当日受付・参加も可能です。

<お問い合わせ先>日本看護研究学会 第30回北海道地方会学術集会事務局

E-mail: jsnr-h2022@tenshi.ac.jp



参加申し込み
QRコード

<事前参加費振り込み方法>

- ・参加申し込みフォームよりお申し込みが完了しましたら、7月22日(金)までにATM または窓口にて参加費をお振込み下さい。振込手数料は各自でご負担をお願い致します。

※Zoomで参加希望の方は、必ず事前振込をお願い致します。

- ・会員の方は、お振込みされる際にお名前の前に必ず会員番号を入れて下さい。

例) 12345 テンシ マリア

【お振込み先】

<銀行名>北洋銀行 [支店]光星支店(支店番号:036)

<預金種目>普通口座 [口座番号]1620285

<口座名義>第30回日本看護研究学会北海道地方会学術集会



2021 年度日本看護研究学会北海道地方会 特別講演会のご報告

令和4年2月27日(日)に「ヘルス・エスノグラフィー-保健・医療・福祉への質的研究アプローチ-」と題して、講師に道信 良子氏(前:札幌医科大学 医療人育成センター 准教授)、座長に鷺見尚己氏(北海道大学)をお迎えし、オンラインで開催しました。会員19名、非会員6名の計25名の参加でした。ヘルス・エスノグラフィとは何かという基礎知識から、看護学研究においてヘルス・エスノグラフィを用いることによってケアへ結び付けていく実際にうかがう機会となりました。参加者からは「子どもを対象とした道信先生の研究をご紹介くださり、実践方法も理解する事ができた」「ヘルス・エスノグラフィをはじめ他の質的研究を行う上でヒントになる具体的なお助言もあり、多くの示唆に富むご講演内容でした」などのアンケート結果があり、大変好評で有意義な講演会でした。



北海道地方会研究奨励賞受賞者のお知らせ

2021年度は論文1件、研究発表2件の受賞がありました。

【論文】

- 中村 円(2021):退院に伴う意思決定支援における病棟看護師と退院調整看護師の役割認識, 日本看護研究学会雑誌, 44(1), p99-110.

【研究発表】

- 城丸 瑞恵, 仲田 みぎわ, 中島 そのみ他(2020):乳がん・婦人科がん手術後にリンパ浮腫を発症した患者が弾性着衣装着時に感じる不具合, 日本看護研究学会雑誌, 43(3), p562.
- 明野 聖子(2020):育児期における母親の親性に影響する要因の検討 育児幸福感および父親の育児・家事の実施頻度別の比較から, 日本看護研究学会雑誌, 43(3), p524.

なお、研究奨励賞表彰式は、令和4年8月6日に開催される第30回北海道地方会学術集会の開始前に行います。